

## 令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：瀬戸内ブロック

ボラ

海域	瀬戸内海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、兵庫県立農林水産技術 総合センター水産技術センター、広 島県農林水産局水産課、福岡県水産 海洋技術センター豊前海研究所、大 分県農林水産研究指導センター水産 研究部北部水産グループ、香川県水 産試験場、徳島県立農林水産総合技 術支援センター水産研究課
----	------	------	---

### (1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報収集調査を実施
- ・各県は漁獲統計調査を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

### (2) データ収集状況

- ・兵庫県では1996～2021年の紀伊水道における小型定置網の漁獲量、努力量を収集済み  
2022年以降のデータを収集中
- ・広島県では2021年の地方卸売市場における漁獲量（一部）を収集済み  
2022年以降のデータを収集中
- ・福岡県では2019～2021年の周防灘における小型底びき網の魚市場年間取扱量を収集済み  
2022年以降のデータを収集中
- ・大分県では1993～2021年の周防灘における定置網の漁獲量、努力量を収集済み  
2022年以降のデータを収集中
- ・香川県では2002～2021年の備讃瀬戸における小型底びき網と建網の漁獲量、努力量を  
収集済み  
2022年以降のデータを収集中
- ・徳島県では2005～2021年の紀伊水道における小型定置網の漁獲量、努力量を収集済み  
2022年以降のデータを収集中  
2003～2022年の播磨灘における小型定置網の漁獲量、努力量を収集済み

### (3) 生物学的特性

(1) 分布・回遊：

世界の熱帯から温帯にかけて広く分布する。日本では北海道を含めてほぼ全域に分布する（落合・田中 1998）。紀伊水道周辺では、外海域で産卵、孵化した仔魚は浮遊期や仔稚魚期を通じて沿岸に移動する。0歳魚の夏季には淡水域で成長し、秋季以降から約3歳魚までは河口域を含めた瀬戸内海で成長する。その後、外海の深みに移動し、成熟すると産卵場に移動する（社団法人日本水産資源保護協会 1974）

(2) 年齢・成長：

全長 60 cm 程度になる（落合・田中 1998）。大阪湾では1歳で体長 20 cm、2歳で 30 cm、3歳で 35 cm、4歳で 40 cm になる（鍋島 1980）

(3) 成熟・産卵：

北半球では日本も含めて 10 月～翌年 1 月であり、日本では 11 月が盛期である。地方ごとの産卵期は非常に短くて 1 か月前後である。日本における最小成熟体長は雌で 32 cm、雄で 27 cm である（落合・田中 1998）。主産卵場は、日本の周辺では黒潮の影響を受ける外海や外海に面した海域にあり、瀬戸内海周辺では薩南、日向灘、土佐湾、海部沿岸の沖合域、熊野灘と推定されている（社団法人日本水産資源保護協会 1974、落合・田中 1998）

(4) 被捕食関係：

情報収集中

(4) 備考

・漁獲量にはボラのほか、近縁種のメナダなどが若干含まれている可能性があるが（上田 2021）、各海域における漁獲量への混入状況の詳細は不明である

引用文献

鍋島靖信 (1980) 大阪湾およびその周辺海域におけるマボラの資源生態. 関西国際空港建設計画検討のための漁業環境影響調査委員会報告 (昭和 51～54 年度), 76-80.

落合 明・田中 克 (1998) 「新版魚類学 (下) 改訂版」. 恒星社厚生閣, 東京, 1139 pp.

社団法人日本水産資源保護協会 (1974) マボラ. 徳島県新長期総合開発計画の水産資源および漁業・養殖業に及ぼす影響に関する調査報告書, 121-123.

上田幸男 (2021) 黒潮域と徳島県沿岸を旅するボラとボラ漁業の栄枯盛衰.

<https://www.tokushima-pe.jp/wp-content/uploads/37e9314d232f4d605c6eadbe1af6be44.pdf>